

あの夏の記憶を永久に

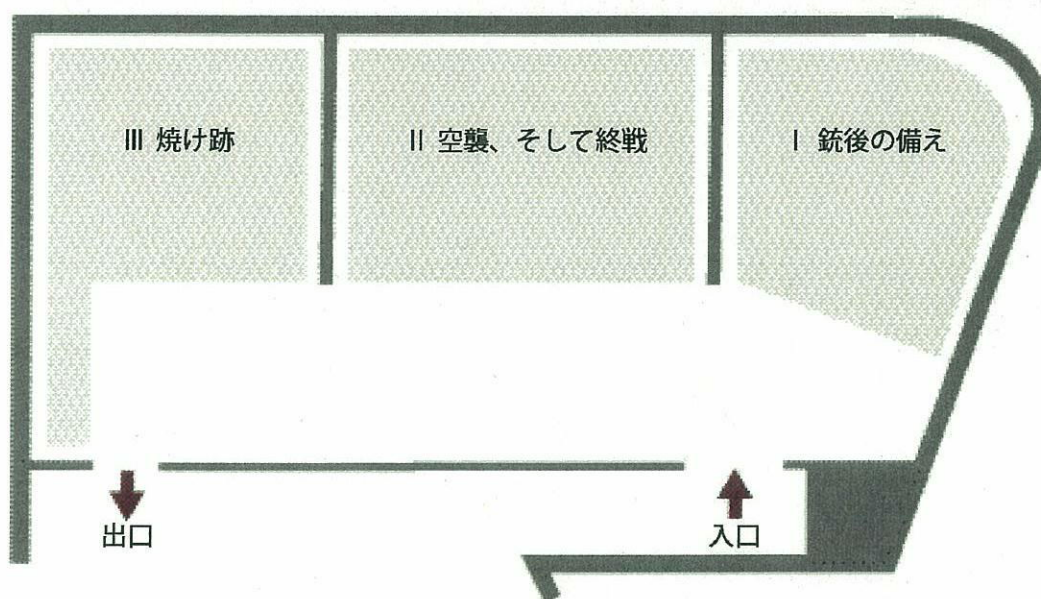
～60年前の日本の姿～

このたび昭和館では、「あの夏の記憶を永久に ～60年前の日本の姿～」と題し、特別企画展を開催する運びとなりました。

今から60年前、日本は先の大戦で戦地ばかりでなく、銃後においても激しい空襲を受けて多くの犠牲者を出し、原爆の投下を機に敗戦をむかえました。開戦前から、政府は空襲を想定して防空のための指令を下し、民間においても様々な工夫がなされました。隣組や婦人会が再編成され、防空訓練が本格化し、防空壕などの施設整備も盛んに行われるようになります。しかし、これらの備えにもかかわらず、昭和20年(1945)3月10日の東京大空襲をはじめとした各地の都市や工場・軍事施設などへの空襲は、人々の暮らしに多大な被害を及ぼしました。

本展は、戦後60年を迎える今年、防空の備えをはじめ、全国各地が焼け野原と化した空襲の実態を紹介し、人々が経験した戦争の悲惨さ、虚しさを後世に伝えようとするものです。

3階 特別企画展会場のご案内



イベント情報

● 映画上映会

長編アニメーション映画「ガラスのうさぎ」(2005年作品) 84分
平成17年8月20日(土) 1回目10:30～ 2回目13:30～
会場：九段会館ホール(入場無料、要整理券)

● 語り部の会

60年前の空襲の様子を体験者の方々にお話しいただきます。
平成17年8月7日(日) 14:00～15:30
会場：九段会館2階 孔雀の間(当日整理券配布)

● 夏休み工作教室

「万華鏡を作ろう！」
平成17年8月21日(日) 11:00～ 14:00～
会場：昭和館3階 会議室(要予約)